

環境に配慮した取り組みRideeco



世界へ発信
モリトのサステナブルな挑戦



Features : 廃漁網から身近な製品への再生へ

廃漁網を回収し、身近な製品に再生することで、海洋汚染問題の改善に取り組むプロジェクト。リファインバースグループが全国の漁師から廃棄予定の漁網を回収し、ペレット化した後、モリトでは、紐止め、ボタンなどのアパレル付属品、生地への製品化に取り組む。そうして生まれ変わったパーツや生地は、靴やペンケース等、新しい商品に生まれ変わっている。

Innovation : 取り組みや、取り組みにける想いの広がり、廃漁網の確保が急務に

この取り組みや、取り組みにける想いが少しずつ広がり、注文や問い合わせが増えていく。あまりに反響が良いため、全ての注文を受けると、今後原料となる廃漁網が足りなくなる可能性もある。

現在再生している廃漁網はナイロン由来のため、ナイロン由来の漁網を使用していて、且つプロジェクトの趣旨に賛同してくれる漁港の開拓が必要となっている。

Future : 漁網は「再生するもの」という考えの広がりを目指す

将来的には、漁網業界全体で、漁網は廃棄するものではなく「使うもの/再生するもの」であるという認識が広がっていくよう活動を広げていきたい。そうした認識が広がれば、さらなる循環につながる。またアパレルにおける地産地消の試みは難しいが、そうした試みも目指している。

「海洋汚染問題の改善に取り組む」という想いに賛同する、
様々なプレイヤーとともに実現する共創プロジェクト

Find VALUE ～みつける～

日本に漂着するプラスチックごみの総重量の内、約40%が漁網、ロープ。漁網は使用後、産業廃棄物となるが、その重さゆえに、廃棄コストが非常に高く、漁師の経済的負担になっている。そうした問題にモリトとリファインバースグループが着目。それぞれ自社の技術を活用して、廃漁網を使ったアパレルのパーツ、生地を作ることによって意気投合した。

Create VALUE ～つくる～

回収した廃漁網には海藻や貝殻等様々な不純物が付着していたり、針が付いていた。こうした不純物をきれいに取るために、手作業が必要となる。大学のボランティアサークルの方、ダイバー向け講習やライセンスを発行するPADIの方々など、様々な方の協力のもと、除去作業を行っている。

Share VALUE ～つたえる～

モリトグループが進めるサステナブルな取り組み「Rideeco(リデコ)」のプロジェクトの1つに「Rideeco School」がある。SDGsの重要性と関連活動について広く知識を共有する出前授業を開催することで、サステナブルな取り組みの具体的な活動を伝えている。



(回収された廃漁網から不純物を取り除く様子)



(Rideeco school開催の様子)

Player

モリト (株) ・モリトアパレル (株)	廃漁網からできたペレットからアパレル付属品、生地等への製品化
リファインバース株式会社	廃漁網のペレット化
全国の漁業協同組合、漁港、漁網メーカー	原材料となる廃漁網の供給
三井物産ケミカル (株)	異物除去作業のコーディネート
静岡県漁業協同組合連合会	廃漁網回収に向けた漁協・漁業者への協力依頼
グローブライド (株)	リサイクル資材を使用した商品の販売、異物除去作業へ参加
(株) カタログハウス	リサイクル資材を使用した商品の販売、異物除去作業へ参加
(株) バディ・アジア・パシフィック・ジャパン	異物除去イベント主催、リサイクル商品の採用